



【感染症だより】

～風邪・胃腸炎について～

春、入園の季節です。今までお家で過ごしていた子ども達も、入園して集団生活が始まり、これまでの生活が一変します。集団生活を始めることによって沢山の病原体に接する頻度が一気に増えます。これまで、風邪ひとつひかずに元気に来た子どもでも、入園と共に風邪や胃腸炎などの感染症をもらってきます。

風邪や胃腸炎の原因はほとんどがウイルスです。鼻水や咳、下痢や嘔吐の症状がすぐに移ります。うつらない様に気を付けていても、初めて接する病原体に対する免疫力（抵抗力）が備わっていないために、うつってしまいます。何度も何度も風邪や胃腸炎にかかって1-2年経つと、一通りのウイルスに抵抗できる免疫力が出来、丈夫になってきます。それまでは、今は免疫力を付ける時期なんだと思って頑張りましょう。

安静と睡眠を十分にとり、手洗いうがい、水分摂取に気を付けて、悪化させないようにしましょう。無理をさせなければ、風邪や胃腸炎は大抵2-4日をピークに改善していきます。しかし、風邪は万病のもとと言われるように、改善がみられずに悪化するときは風邪ではないかもしれません。病状が悪化したり、長引いたりするときは医療機関を受診しましょう。

表：3月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	69
1	溶連菌	69
3	インフルエンザB	42
4	インフルエンザA	17
5	RSウイルス	6
6	突発性発疹	5
7	水痘	4
8	アデノウイルス扁桃炎	1

★病児保育室あんずからのお知らせ★

この4月から、**空き状況**をWebで確認出来るようになりました。携帯電話でもしみずクリニックの予約ページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご注意下さい。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

文責： 清水マリ子

